

項目	内容
名称	テレピン油、テレピン油 [英]Turpentine Oil [学名]Pistacia terebinthus L.、Pinus palustris
概要	テレピン油は、ダイオウマツ (Pinus palustris Mill) をはじめとしたマツ属の樹脂より得られた精油で、香料や塗料等の溶剤として利用されている。ダイオウマツ (Pinus palustris Mill) は北アメリカ東部が原産地で、高さ30 m程度に生長する。
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p> <p>■ 日本薬局方 ・テレピン油が収載されている。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ピネン、カレン、カンフェン、ジペンテン、テルピノレン、ミルセン、フェランドレン、シメンなどを含む (23) 。
分析法	-
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (23) 天然食品・薬品・香粧品の事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (58) The Complete German Commission E Monographs (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) <a href="#">(PMID:16714965) Pediatr Emerg Care. 2006 May;22(5):355-7.</a> <a href="#">(PMID:8206452) Forensic Sci Int. 1994 Mar;65(1):47-9.</a> <a href="#">(PMID:13114927) Arch Dis Child. 1953 Dec;28(142):475-83.</a>	